

微生物の力で微生物層＋物理性改善!!

好嫌気性複合微生物資材

「コフナ」

コフナ農法普及協議会

大豆をはじめとするマメ科の作物を安定して栽培するためには、

- ①排水性が高い
- ②微生物層が豊かである
- ③作土層が深い

ことで栽培の安定化、品質収量の向上に繋がっております。堆肥等の施用だけでも物理性、微生物性は改善していくもののコフナに含まれるさまざま

の3点が挙げられます。コフナは、黒大豆から小豆、インゲンなどマメ科の作物に使用が広がってきております。

また微生物(低温、高温好気性、嫌気性条件など)が土壌のさまざまな環境下で活発に増殖し、有機物を腐植化し早期に土壌改良を図ります。

特に先に挙げた条件により、コフナ単独での使用より、堆肥や有機質を含む肥料と合わせて使う

特に物理性の改善を進めるために豆連作の場合であれば、収穫終了後で

きるだけ早期にコフナを堆肥などの有機質と共に散布し、前作の残根も含めて微生物の力で腐植化させます。時間が長ければ長いほど、土壌の深いところにも入った根を分解腐植化することができるので、できるだけ早期の散布をお勧めしております。堆肥等の有機物を投入できない地域では栽培体系に緑肥を投入し、すき込み時にコフナを入れる事例もありますので、栽培に合わせてご使用ください。詳細な内容については左記まで

▼コフナ農法普及協議会事務局 0114000002 東京都品川区東品川2の2の20の3 二チモウ(株)内。

TEL03(347500) 4369。FAX03(347500) 43299。

URL=http://w

ww.cofuna.jp

Eメール=info@ww

w.cofuna.jp

